

学校の教育目標

〈児童と教職員が共にめざす姿〉

たのしい学校

やりぬく子ども

現状と課題

【生活面】

- 笑顔で活動できる学級と感じている90%以上
- 登校しぶりや遅刻のある児童
- 友だちとの関わり方や集団活動が苦手な児童
- 【自分に自信を持ち、認め合ってたのしく生活するための考え方や行動力の育成】

【学力面】

- 正答率は、ほぼ全国平均を上回っている
- 生活習慣・学習習慣の未定着→学習意欲への影響
- 【保護者との連携、学習習慣、魅力ある授業】
- 活用問題への意欲はあるが時間不足、表現力不足
- 【授業における活用問題の量、表現力の育成】

重点目標

I, 自立・共生の力をつける

- ①時間を守って生活していく態度と習慣
- ②相手に伝わる挨拶、話し方
- ③体を動かす習慣

II, 学びに向かう力を伸ばす

- ①望ましい学習習慣・学習規律
- ②基礎基本の習得の徹底
- ③根拠を持って考え、表現する授業

教職員の構え

チームで徹底!

- 学年・分掌で(チームで)  
かならずやる(徹底)
- 全職員で課題を共有する
  - 具体的なめあてを決める
  - 学年・チームで徹底する
  - 達成状況を評価し改善する

学び続ける教職員集団

- 自分の授業や教室を開く  
技を惜しみなく伝えていく
- 楽しくわかる授業力を磨きあう
  - 生徒指導力を伸ばす(子どものトラブルは学年・チームで対応解決)
  - 保護者・地域の方からの信頼を得る

重点目標を支える教師の日々の実践

【児童理解】

- ①児童の声に耳を傾ける
- ②児童をしっかりほめる
- ③児童と共に動く
- ④特別支援教育の視点
- ⑤コーチングの視点

【学力保障】

- ①ユニバーサルデザインの授業
- ②聴き合い学び合う集団づくり
- ③レベルの高い課題に挑戦させる授業

【心の教育】

- ①朝読書の充実
- ②人権学習、道徳、SSTの工夫
- ③めあてを明確に持たせた体験活動

【地域・保護者との連携】

- ①日常的な連絡・家庭訪問等
- ②通信、HPによる情報発信
- ③GT・SSとの連携

重点目標と学級・教科経営案、自己申告シート、校内研究との連動

■学級・教科経営案

重点に基づいた年間計画の作成

■自己申告シート

チームで具体目標の設定、評価

■校内研究

達成目標明確にPDCAサイクル

学校評価計画

自己評価(教職員・児童・外部アンケート等)・学校関係者評価・第三者評価 → 改善・進化